

# 認知症公開セミナー

## 支え、支えられる姿

日時：平成27年2月22日（日）

13：00～16：00（開場12：30）

会場：高山市民文化会館小ホール

### 「認知症を理解する」

講師：垣内無一先生（須田病院 認知症疾患医療センター）

### 映画上映：「妻の病」

一人の医師と、認知症の日々を生きる妻との

10年間に及ぶ“いのち”を巡る物語。（ドキュメンタリー）



入場券

大人500円

前売券あり

共催：認知症公開セミナー実行委員会・高山市医師会・飛騨市医師会  
高山市薬剤師会・岐阜県訪問看護ステーション連絡会・エーザイ(株)



## ライフイズ ライク アドリーム

「まるで夢のようだね…」

認知症の日々を生きる妻に、夫が語りかける。二人はうなずき合う。この映画は、認知症のドキュメンタリーというよりも、病を経て絆を深める、ある夫婦の愛の物語である。

2011年3月11日。東日本大震災のその日、私はひとりの友人の話聞くために、高知県南国市にいた。友人の名は石本浩市(62才)、ふるさとのその地で小児科を開業する医師である。十数年前、小児がんの子どもたちのキャンプで出逢い、10年がかりで「風のかたち」という映画を制作した仲間だ。その日、石本さんが語ったのは、小児がんの話ではなかった。  
——レビー小体型認知症。それが、彼の妻の病名だった。

妻・石本弥生さんは、石本さんとは幼なじみ。50代から若年性の認知症となり、10年間、石本夫妻は病との闘いに明け暮れて来た。小児がん治療と地域医療の取り組み、妻・弥生さんの認知症との格闘、決してキレイゴトでは片付けられない

日々…。石本さんは、医師ならではの観察眼で、弥生さんの発症以来の日常を、まるでカルテを書くように、こと細かに記録していた。

認知症が進行し、今では身の回りのことがほとんど何も出来なくなった弥生さん…。

その弥生さんに深い愛情を寄せケアする石本さん、家族、親戚、地域の人々。

映画「妻の病 -レビー小体型認知症-」は、四国・南国市の豊かな自然に育まれ、支えあうように生きて来た一人の医師と、認知症の日々を生きる妻との、10年間に及ぶ「いのち」を巡る物語である。

「生きなきゃ… ふたりで よう頑張ったと思う。」  
「うん、生きなきゃ。」

(演出・伊勢真一)

伊勢 真一 (いせ しんいち)

ドキュメンタリー映像作家。1949年東京都生まれ。「奈緒ちゃん」「えんとこ」をはじめ、数多くのヒューマンドキュメンタリーを製作。近年は若手の作品プロデュースも積極的に手がけている。「風のかたち」文化庁映画賞・カトリック映画賞受賞。「大丈夫」キネマ旬報文化映画第1位。「傍(かたわら)」キネマ旬報文化映画第6位。2012年日本映画ペンクラブ功労賞。2013年度シネマ夢倶楽部賞受賞。

石本 浩市 (いしもと こういち)が小児科医  
1951年高知県南国市生まれ。順天堂大学医学部卒業、小児科医となる。小児がん医療に取り組み、最前線で活躍。2001年に故郷・南国市へ戻り「あけぼの小児クリニック」を開業。地域医療に取り組み。10年間に及ぶ妻・弥生さんの病との日々を生きてきた。

石本 弥生 (いしもと やよい)石本さんの妻  
石本浩市さんとは幼なじみ。2004年に統合失調症と診断される。その3年後、若年性のレビー小体型認知症であることが判明。現在に至る。

出 演 —— 石本浩市 石本弥生 石川真理  
脚 字 —— 細谷亮太  
編 影 —— 石川真二  
負 責 —— 米山 誠  
録 音 —— 津辺 史彦  
編集技術 —— 尾沢 弘一  
ハンドネオン —— 大久保がおり  
コントラバス —— カイド・ユタカ  
音楽協力 —— 横内 丙午  
宣伝デザイン —— 森岡 賢貴 (ジエノグラフィック)  
制作・上映デスク —— 逸郎 研典  
観覧見守り —— 堀内 剛子


制作協力 —— ヒボコミュニケーションズ

一興社

ハチプロダクション

いせフィルム

演 出 —— 伊勢真一

助成：  文化庁文化芸術振興補助金

——愛する人が認知症になったとき、一体何が大切なのか。

誰の上にも起きる可能性がある認知症という病。

愛する人が認知症になったとき、

あるいは自分が認知症になったとき、一体何が大切なのか…。

この映画は、一人ひとりに深い問いを投げかけています。



【レビー小体型認知症】

アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症とともに、“三大認知症”といわれている。パーキンソン症状と幻視・幻聴体験、そして認知症独特の記憶障害がみられる疾患。「レビー小体」とよばれる異常物質が脳組織に沈着する。症状には波があり、鬱(うつ)症状もみられるため、同居する家族の精神的負担も大きい。

入場券 大人500円(高校生以下無料)

前売券は「高山市民文化会館」で販売しています。